

2004年度の主な成果

あなたのご寄付やご支援で
2004年度、NACS-Jは、
全国でこのような自然保護活動ができました！

2005 活動レポート

●尾瀬プロジェクト

尾瀬の持続的な保全のあり方を方向づけることを目的に、新たな保全計画の提案を目指しています。2004年度は、登山道周辺の荒廃がすすむ至仏山の保全・利用策への具体的な提言をまとめました。また、ツキノワグマへの対処について、課題の整理と対処方針に関する提案を行ないました。



●AKAYAプロジェクト

群馬県新治村・赤谷川上流域の国有林をフィールドに、地域住民・NGO・行政のパートナーシップにより、生物多様性復元と持続的な地域社会づくりを継続しています。2004年度は共同管理の協定書に沿って、研究調査・環境教育プログラムを進め、情報発信ツールとなるパンフレットやホームページを作成、活動拠点「いきもの村」の整備などを行ないました。



●市民参加の海岸植物群落調査

市民参加の海岸植物群落調査を全国で実施しています。2004年度は、約300カ所の海岸で調査を行ないました。調査結果はGIS(地理情報システム)データにまとめて、ホームページで公開しています。2005年度も調査研修会を全国各地で開催しています。

●自然しらべ 2004

2004年度は「カタツムリ」をテーマに行ないました。延べ1599人から、約5000匹のカタツムリ情報が寄せられました。



●NACS-J自然観察指導員

講習会を17回、研修会を2回開催しました。2004年度は、指導員登録者2万人突破を記念して「全国一斉20000人かんさつ会」を企画し呼びかけ、全国約160カ所で開催されました。

●小笠原諸島の保全

小笠原諸島に固有の生態系の保全と適正な利用のあり方を探るため「小笠原村南島自然環境モニタリング調査」「小笠原国有林南島モニタリング調査」を行ないました。2004年度は、外来種の生息分布や観光利用との関係を解析しました。



●市民参加の里やま保全

地域の自然を継続的に調査し、その結果を地域の自然を守るために生かすことを目指して、市民参加のモニタリング調査手法の検討を進めました(地球環境基金助成)。また、里やまの生態系保全の考え方の普及を目的に『生態学からみた里やまの自然と保護』を出版しました。



●ホームページ、 パンフレット発行

NACS-Jの活動を知っていただくために、ホームページの情報を週2回ペースで更新しています。携帯電話専用のホームページも新設し、携帯メールからの資料請求にもお応えできるようになりました。新しい入会案内パンフレットもつくり、入会者を募っています。



●プロ・ナトゥーラ・ファンド

(財)自然保護助成基金との共同事業として、第13期(2002年度)の助成成果をまとめた報告書を発行するとともに、第14期(03年度)の助成成果報告会を東京で開催しました。6月には大阪で過去の助成成果を紹介するシンポジウムを開催。また、第15期は19件の国内研究・活動グループと海外助成として4人に計2400万円の資金支援を行なっています。



●国際的な自然保護活動への参画

IUCN(国際自然保護連合)日本委員会の事務局として、会議・ホームページの運営を行なっています。2004年度は「アジア地域会合」IUCN第3回世界自然保護会議」に出席し、その報告会を開催しました。生物多様性保全に関する国際動向について情報収集、国内の自然保護活動への情報提供を行なっています。



●外来種対策・野生生物基本法への働きかけ

野生生物保護基本法の制定や、特定外来種対策法の実効性を上げるべく、国会議員などに働きかけを行ないました。また、クマの出没・駆除の急増を受け、「野生生物保護法制定をめざす全国ネットワーク」として緊急シンポジウムを開催。環境省にツキノワグマの保護管理対策を求めました。

●辺野古海域の保全

沖縄島北部東海岸(辺野古・嘉陽)で、市民参加による海草調査「沖縄ジャングサウッチ」と地域観察会を開催しました。気球に載せた自動撮影カメラで海草藻場の空撮調査も実施。移設計画の見直しと海草藻場の保全を繰り返し求めています。



●川辺川生態系保全

熊本県の川辺川ダム建設をめぐって、地域グループによる九折瀬洞窟のコウモリ調査やクマタカ繁殖状況調査に協力するなど、生態系保全のための取り組みを継続しています。

●リアルネイチャー・セミナー／キャンプ

2年目にあたる2004年度は、企業人向けセミナーを4回、学生向けセミナーを5回開催しました。自然保護に関する課題をお持ちの企業の方々、自然保護の仕事に関心の高い学生が多数参加されました。またAKAYAプロジェクトエリアで、自然保護活動の結果守られた自然の豊かさを体験できるキャンプを、四季を通じて5回企画・実施しました。



●泡瀬干潟の保全

埋め立て事業が進む沖縄島・泡瀬干潟の自然を保全するため、専門家・地域グループとともに現況を把握するための調査を実施。中間報告を沖縄で発表し、事業の見直しと干潟の保全を求める働きかけを行ないました。(自然保護助成基金、WWF・日興グリーンインベスターズ基金助成事業)



●宮崎・照葉樹林の保全

宮崎平野周辺に残る照葉樹林群落の保護管理状況について調査を開始しました。また地域のNPOや行政とともに、綾の照葉樹林を保護・復元するプロジェクトのための準備を行ないました。



NACS-Jの経営・運営に取り組むメンバーです。(2004年5月29日選任、任期2006年5月28日まで)

理事長 ■ 田畑貞寿(千葉大学名誉教授) 専務理事 ■ 大澤雅彦(東京大学大学院教授) 理事 ■ 阿部 治(立教大学教授)／有賀祐勝(東京農業大学教授)／安藤伸良(NACS-J事務局長)／大森博雄(東京大学大学院教授)／小野有五(北海道大学大学院教授)／亀山 章(東京農工大学教授)／須磨佳津江(ジャーナリスト)／中村俊彦(千葉県立中央博物館生態・環境研究部長)／羽山伸一(日本獣医畜産大学助教授)／原 慶太郎(東京情報大学教授)／原 剛(早稲田大学大学院教授)／原田 隆／水野憲一(環境ジャーナリスト)／村上哲生(名古屋女子大学教授)／村杉幸子／横山隆一(NACS-J常勤理事)／吉田正人(江戸川大学助教授)／鷲谷いつみ(東京大学大学院教授) 監事 ■ 大野正男(東洋大学名誉教授)／鹿野久男((財)休暇村協会常務理事) 顧問 ■ 5名 評議員 ■ 24名 参与 ■ 21名 (敬称略)

ありがとうございました

＊
2004年度寄付サポーター
977人
総額3317万8048円

NPO法人アースデザイン・アソシエーション、愛知県岡崎市立福岡中学校、相原信三、青木啓子、青木妙子、青島省一、青山喜博、赤池宗治、赤沢京子、赤沢美恵子、秋田あや子、秋田恵美子、秋田栄美、秋村員文、秋吉洋子、浅川昌子、浅田英勝、浅野博、浅野政美、浅野直、東モリコ、麻生泉、麻生聡、麻生順子、足立由美子、アド、コムクル(株)、八沢利雄、八田雪江、穴原達功、アフラック日本社社員厚生会、阿部治、阿部洋子、雨森利子、アメリカンミラー生命保険会社、荒井輝雄、新井川樹、荒金孝子、荒川日出子、荒木孝昭、荒木元子、荒木田昭子、有馬数男、栗田正美、安波道地、安生智、安藤伸良、飯塚弘一、飯塚友康、飯塚善勝、飯間雅文、井内美紗、碓山敦、池上豊、池田昭一、池田竜子、池田登、池田久治、池田則夫、池野宏子、池森新路、石井至、石井研二、石井美子、石井秀子、石井誠、石川正英、石黒達、石黒勉、石田清明、石橋浩、石橋太郎、泉文宏、泉谷孝生、磯海のぞ、磯村泰正、板垣雄二、井出孝子、伊藤英一、伊藤要、伊藤寛平、伊藤久美子、伊藤滋子、伊藤滋隆、伊藤隆平、伊藤千城、伊藤信行、伊藤寿子、伊藤聡子、伊藤貴子、伊藤幸雄、伊藤孝雄、伊藤孝尚、伊藤久三、三、稲葉和子、稲生和久、井上義和、井上高明、井上雄次、井上裕美子、井延有希、井高明子、今別府純雄、今堀宏子、今江洋明、入嶋五恵、入野俊夫、岩井満知子、岩内正徳、岩崎隆、岩野輝、岩原海代子、宇井晴穂、植田清数、上田貴子、植田美千代、上野陽太郎、上野敦子、植原彰、植村正義、上村吉之祐、植山敏子、白木富雄、内田昭彦、内田聖子、内野恵、宇野早苗、内野俊明、梅谷聖子、浦家英子、協同組合エコーナジー、江刺第一中学校、繪田昭男、衛藤雅也、(株)N

ＴＴデータ、(株)NTデータ社員有志一同、遠藤浩一、遠藤秀美、遠藤博、遠藤志一、遠藤陽一、合資会社狼森、大石直美、大石久雄、大泉武彦、大若正起、大内雄三、大川恭保子、大川弘美、大口北都中学校、大久保多加男、大越健嗣、大越みどり子、大坂知子、大澤純二、大澤ひな子、大沢雅彦、大島啓盛、大島由隆、大城正市、太田慶子、太田定男、太田シズ子、大谷敦子、大谷多鶴子、大谷敬治、大塚美智子、大塚康子、大塚美智子、大西博之助、大西史男、大貫はるみ、大野久夫、大野佐知子、大原長英、大東三子子、大森雄二、大屋久美子、大山秀雄、大山雅司、大山勇作、大田和明子、岡耕一、岡崎野、小瀬加奈子、岡崎孝、岡野弘明、岡本初生、小川野作、小川俊一、小川曾啓次、小野新、小野正明、奥島仁志、奥野明子、奥野新、奥村雅子、小栗幸雄、植田若男、小山内司、小田邦昭、乙部尚史、小野知子、小野三郎、小畑徳彦、小見寺公一、親富祐善繁、恩田貴子、御嶽森林空間利用促進協議会、開発法子、歌岡宏信、加川晶子、九ヶ八(株)フジとお客様方、葛西幸枝、笠井はま江、笠原忠夫、風巻トシ、堀田あまね、春日千枝子、加瀬秀雄、加瀬由紀子、片岡一、片岡小三郎、片岡久義、形山嘉子、勝山映之、賀登環、加藤さき子、加藤さん、加藤健二、加藤晃樹、加藤進、加藤孝子、香取法子、金井しづぶ、金森繁三郎、金山陽子、金子久子、金子博子、金城美代、金田正子、(株)明彦、神谷司、神谷好志子、亀井弘和、亀井真佐代、亀江直樹、亀崎敬介、亀田智佐、鴨下知子、唐沢良子、カローラ(株)、川合繁太郎、川井猛、河合城、川勝史朗、川北秀人、河口晶、河口洋一、川崎茂雄、川崎富子、川田三郎、川田真紀、河端信昭、河村勝子、河本聡、河本みゆ子、勘川捷治郎、特定非営利法人環境利用促進協議会、神林孝子、木内聖子、木内直子、菊地興幸、木下進、岸田正子、岸村由紀子、北政史、北村裕治、北野光久、北湖廣一、北村悦子、北村光音、木村久子、木下まゆみ、木原泰文、木保花子、木村伍郎、木村健一、木村良子、木村三弥、日下部太郎、橋見隆一、工藤一寿、工藤勝政、蓬達光治、久保田修、久保田恵子、久保田道子、熊切保、熊崎男、熊代三子、栗栖健太郎、栗林淳子、グループ21、黒岩展子、黒住龍一、(有)クロスワイヤ、(有)クロスワイヤン(Globe)、桑名博男、京急池永マリンパーク、小泉博子、源河朝明、小池油香子、小泉恵子、小泉富史郎、瀬上謙之助、瀬田利子、高坂利一、幸田辰雄、中田代表

哲美、詩歩、光田道雄、久美子、河野純子、国画会、小佐井久美子、小阪隆子、小柴淑子、小島達司、小島弘之、小島三代子、小菅一、後藤勝彦、後藤賢一、後藤武司、中由紀子、小西民人、木幡英雄、小林和史、小林善美男、小林景子、小林功英、小林幸子、小林進、小林宏、小林政登、小林幸子、小松原、小松原な、小松長久、小松高夫、近藤仁、近藤レイ子、猪俣清子、西藤恭子、斎藤一、齋藤けさ子、齋藤茂、斎藤孝子、斎藤美枝、齋藤幹夫、齋藤孝子、佐伯雅子、坂井厚、酒井兼三、酒井道子、酒井久、酒井秀明、酒井博史、坂村清光、酒井久子、境野孝、坂本武徳、坂本哲子、佐久間勇、佐久間恵生、佐藤美、佐岡文雄、佐々木克之、佐々木竜、佐々木一、佐々木敏子、佐々木昇、佐々木史江、笹本政美、笹子重治、笹沼智子、佐藤武彦、さくはらハル、(株)真方昇、佐竹祥代、佐竹健二、佐竹典明、佐竹勝吉、佐藤武彦、佐藤孝子、佐藤俊子、佐藤陽子、佐藤明子、佐藤正三、佐藤三郎、佐藤寛、佐藤則男、佐藤孝子、澤田千香、澤田敏子、沢田幸子、三森麻里、三宮英幸、塩田聡郎、塩田直一、塩田禎子、塩田正子、塩田ゆかり、潮村浩一郎、鹿間信弘、静岡県市住宅政策委員会、雲石正男、財目自然保護財成基金、篠崎美、柴垣英俊、柴田葉子、柴山裕子、島崎美佐江、島津幸枝、島田徹、島田敏子、島崎美佐江、島道夫、島田光雄、嶋田幸子、清水和男、清水弟、清水雅典、清水光太郎、志村智子、下江聡美、下田和広、下田信廣、十四中学校、荏苒子、荏苒子、菅沼裕一、菅沼英男、菅沼慎吾、菅原忠、るり子、菅原利子、菅原慎吾、杉田真一、杉田正子、杉本圭一、杉本海、杉本龍雄、杉本和夫、杉山新一、杉山弘隆、鈴木久仁子、鈴木和夫、鈴木勝一、鈴木健太郎、鈴木正規、鈴木啓史、鈴木健司、鈴木健太郎、鈴木康之、鈴木洋子、須藤恵子、須藤康宗、須山和子、田中利子、田中保之、関根代子、関口滋子、積水樹脂(株)グループ従業員一同、関根孝道、瀬戸清子、仙波一平、千本木郁子、相模雄一、相模孝子、曾根日出夫、相谷登希志、損保ジャパン環境財団、互井裕一、二、高品武志、高富富子、高田隆雄、高田光裕、高田谷子、高尾隆一、高尾友美、高野裕一、高橋昭雄、高橋幹、高橋幹一、高橋多美子、高橋恒男、高橋幹、高橋幹一、高橋美奈子、高橋美奈、高橋洋一、高橋之助、高橋泰子、田上徳子、高村健一、高村真生、宝造造

(株)滝沢博明、田口育郎、田口肇男、宅見孝子、武内恭子、竹内達生、竹内利子、竹内由紀子、竹口千代美、竹田善美子、竹林隆、竹田史由、竹村真美、多胡則之、龍島敏子、原島由香里、田代千枝子、立岡英宏、龍島香、立石慶喜、田中千恵子、田中真一、田中久弘、田中幸男、棚崎収、谷口典子、谷長深、谷間良昭、谷村和彦、谷村直明、田畑清霧、玉田俊郎、丸山智子、田宮正子、田村泰彦、千々岩若、茅野恒秀、千葉勇一、一寸木肇、塚原隆子、塚本明美、月足一彦、津久井誠、津久井正幸、佃トシ、辻邦子、辻井定彦、田勝義、土田隆恒、角田良紀、寺島敏明、寺本京子、寺本孝子、照屋久子、寺井敏彦、社会福祉法人東京コトコ、道正健太郎、時田恵生、常盤文子、徳富秀樹、徳重和子、津島義夫、戸塚孝子、富田弘之、富永誠、虎谷健、鳥居進、内藤進、永井一宏、中川三子、永上新子、長尾圭祐、中健貴之、中川三子、中川健、中川潤、中川琢子、長澤順子、中嶋篤子、中嶋信子、中嶋正雄、中田英士、中田浩明、中田由雄、中谷真砂子、長塚行雄、長澤真貴、中野和郎、中野葉子、中村善和、中村麻子、中村和子、中村光敏子、中村健二、中村俊治、中村雅人、中村光敏子、中村隆一、中村長二、中山康夫、中山貴史、成執義典、並木すみ江、水堀美、植原英子、西澤武、成富ほほみ、仁木智子、西内洋二、西澤孝、西谷昌子、西脇政雄、西脇留治、とよ、奴田原源子、野田貞子、野口和年、野田悦宏、野原明子、野原文江、野瀧春子、野見山健一、野村公、野村昌久、野村康子、野元雄貴、B&Oの、箱崎フランク工業、橋本清、橋本幸子、橋本哲夫、橋本芳博、長谷川佐代子、バタコ名古屋店、波谷百合子、波多野道雄、八角敏、羽鳥工三、花岡美佐緒、羽佐啓之、浜盛一、馬場良子、羽生匡夫、濱谷修一、浜屋一、早志敬治、林賢三、林信夫、林田文子、原昇平、原島和子、原田絵里子、渡田弘美、原田勇二、原田龍次郎、針原鈴代、東山芳行、樋口和則、樋口直人、久光幸子、泥谷美千子、日比豊、日比野久、平澤一平、平島長生、平野公子、平野隆、平松隆、平山政昭、広瀬立成、廣瀬光子、(株)フレシモ、(有)フォレスト、深見弘、深谷佐智子、吹一博、福井和枝、福岡和子、福岡工子、コミュニケーション専門科、福岡敦子、福岡章吉、福田重美、福田まり子、福田貴子、福地中学校、福丸裕子、福田雅光、藤井俊之、藤井憲男、藤井康隆、藤井祐二、藤井順子、藤崎昭子、藤沢浩志、富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス

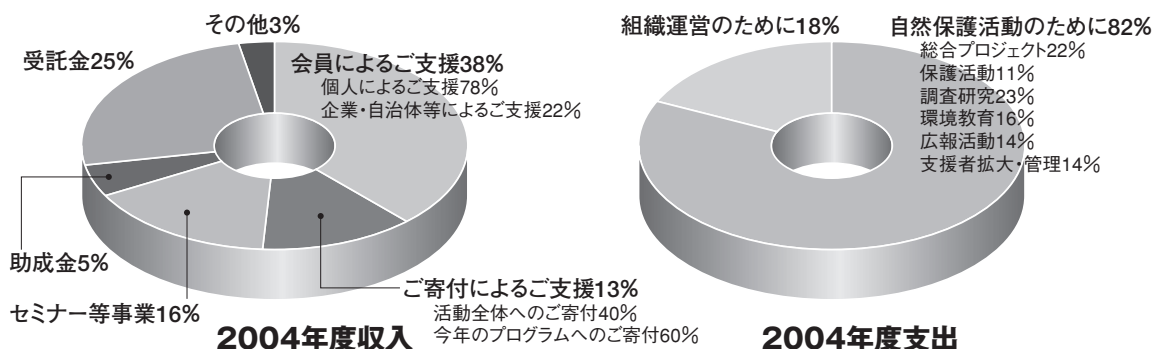
端数倶楽部、藤田重輝、藤田正文、藤田義朗、藤森新一、藤原正、布施則文、ブクエインター名譽、フリストンFVS(株)、古井浩、古川次江、文男、別府清輝、保坂和子、星崎、星徳夫、星野久子、保倉治、細井利男、細川佳代子、細川浩、堀切清輝、堀尾昭子、堀川恵子、堀川隆一、堀切清輝、堀越高等学校生徒会、本田鉄也、本田明彦、本田平、本間一、万江慶典、前田保彦、前田晃樹、牧田兼正、牧野立子、正岡孝、政岡秀子、増田英治、升田元行、關澤昌美、町田恵子、町田瑞生、松岡孝子、松下隆文、松島大、松本大、松本利夫、松本久、松本昌子、松本明子、松本能利夫、松原久也、松山ひろ子、真鍋公記、間宮八枝、藤澤子、丸尾雅美、丸谷也也、丸山智之、丸尾子、丸山芳子、三浦敦、水谷寛、水野恵子、水野薫、水野公、水野武夫、水野清、水野隆一、水村久一、溝口二、二谷孝子、三井代三、三村幸久、湊清、南彰、南野雅之、幸澤一郎、幸久、宮崎隆、宮崎安、宮崎俊輔、宮内三子、宮内達郎、宮内式、宮内節子、宮原英、宮田由美、武藤隆、石松光子、村上生、村上和子、村上さ子、村上達子、村上博、村嶋恵子、村瀬和良、村瀬正、村田米、村田和子、村田昭重、村山史世、村山昌子、目黒史一、まほろば基金、葉川芳彦、元良正子、茂又史、森蔵子、森繁利、森照代、森貴子、森信雄、森田、森繁昭、森田子、森田正、盛岡立米中学校、盛岡市平橋中学校、森徳子、森島恵子、森岡剛史、森田洋代、森田正男、森戸謙、森本也也、森本、森山昌久、諸橋崇、八木智夫、柳浩子、安田さき子、柳川祐子、柳口重彰、柳澤愛子、矢根保、谷沢礼子、山口久、山口次郎、山口山、山口山、山口啓之、山口宇、山口和夫、山城秀之、山田暁子、山田暁子、山田隆、山田敬男、山本勝久、山本莊一、山本隆治、山本孝恵、山本保、山本恒子、山本昇、山本真智子、湯浅浩史、結城キミ子、有鹿元子、横田裕樹、川口百合子、湯田貴子、横田岳人、横田裕樹、横山真奈美、吉居清、吉岡和成、吉岡陽子、吉川勝一、吉澤義典、吉田啓子、吉田昌佳子、吉田昇、吉田貴人、吉田正人、吉田勝、吉田海男、吉田良平、好永ヤス、吉野貴敏、吉澤義典、吉村雅子、吉村孝子、依田悦代、依田子、米島宏宏、米谷敬光、ラムネ屋敷、六重部篤志、(株)レイオ、和歌和男、若林田志、藤本秀行、藤合つみ、和田茂幸、和田晴美、渡邊淳子、渡辺恵子、渡辺静子、渡辺士乃武、渡辺武夫、渡辺春、渡部通、渡辺恵子、渡辺慶孝、渡辺芳弘

(五〇首順、敬称略。掲載を希望されなかった方は除かれています)

NACS-J収支決算レポート（2004年4月1日～2005年3月31日）

NACS-Jの活動は、およそ半分会費とご寄付に支えられています。
それらをもとに、年支出の約8割を自然保護活動に、
約2割を組織の運営に役立てています。

●2004年度の収入・支出割合



●2004年度決算と2005年度予算

（単位：千円）

NACS-Jの収支は、収支均衡予算を基本とし、活動テーマに合った資金源の確保、手堅い収入目標と収入状況に合わせた支出管理、日常業務の効率化などによるコスト削減に心がけています。その結果、2004年度は約2億6000万円の収入規模に対し、約1400万円のプラス実績となりました。（収支の差額は次年度に繰り越されます）

また、NACS-Jの活動は、専門的な技術や所有の施設などを無償あるいは安価でご提供いただいたり、現地でしかわからない情報を寄せてくださる方がいらしたり、アクションサポーターとして活動をお手伝いいただいたりと、会計の報告には表れない多くのご協力・ご支援があってこそ、予算規模以上の取り組みができています。

科 目	2004予算	2004決算	2005予算	※1
当期収入合計	273,300	260,000	274,200	※2
会費収入	103,200	98,800	102,400	
寄付金収入	36,900	33,200	38,500	
事業収入	49,100	40,800	49,500	
助成金収入	17,400	12,000	39,000	
受託金収入	59,800	65,300	40,500	
特定預金取崩ほか	6,900	9,900	4,300	
当期支出合計	273,300	245,500	274,200	※2
総合プロジェクト事業費	49,700	44,300	36,600	※3
保護活動費	34,300	21,400	31,400	※3
調査研究費	45,800	46,800	56,300	※3
環境教育事業費	40,000	33,000	39,100	
広報事業費	29,500	28,500	32,800	
会員事業費	31,000	28,300	31,600	
管理費ほか	43,000	43,200	46,400	

なお、決算および予算の詳細は、ホームページをご覧ください。

（2005年3月23日理事会にて2005年度事業計画・予算議決、2005年5月26日理事会にて2004年度事業報告・決算承認）

※1 2004年度予算は、当初予算額を表していますが、2005年3月8日に一部予算の補正を行ないました。

※2 固定資産の運用変更等にかかわる収支の動きは除きました。

※3 総合プロジェクト事業費、保護活動費、調査研究費には、それぞれ受託事業費が含まれています。なお、受託事業支出額の合計は、受託金収入と同額です。

2005年度の活動へのご支援・ご寄付をお願いします。

今年度もNACS-Jは全国の自然を守り、次世代に伝えていくための保護・研究・普及活動、さまざまなプロジェクトを展開していきます。ぜひ、この1年も温かいご支援をお願いいたします。

NACS-J自然保護寄付へのご寄付方法は、付録のパンフレットをご覧ください。付属の払込取扱票で全国の郵便局からご送金いただけます。どうぞご利用ください。

